

JSエコニュース

発行：JS環境委員会

TOKYO PACK 2016 - 2016東京国際包装展 -
Tokyo International Packaging Exhibition 2016



10/4～10/7までの4日間 東京ビックサイトにて「2016東京国際包装展」が開催されます。今回のテーマである「伝えようNIPPONの包装力」は、生産・包装・流通の技術振興を図るとともに、商談や交流および包装の最新情報発信の場として、社会の発展に資する事を目的としています。昨年の東京国際包装展では、684社の出展、119,317人の来場者を記録し、そのうち約9割の来場者が「期待通り」または「期待以上」の満足度と評価しています。

新しい発見や新しいアイデアが浮かぶチャンスと捉え、多くの社員に是非視察して頂きたいと思えます。



PD 講座島田研修

9/22にPD講座本社社員対象による島田PC 研修が実施されました。

大半の受講生が島田PC を訪れるのが初めてと言うこともあり、普段目にする事の少ない製造ラインを見学し貴重な体験となりました。受講生の今後の活躍を期待します。



PD 講座本社研修

9/24にPD講座島田社員対象による本社研修が実施されました。製造現場では製版の仕組みについて触れる機会も少なかったのですが、製版からCTP出力、印刷を研修しオリジナルの「DIGIPAK」作成を体験しました。受講生皆さんの今後の活躍に期待します。



Kodak Sonora XJ プロセスフリープレート

2015年に発売されたKodak Sonora XJプロセスフリープレートが業界から注目されています。プロセスフリー（プロセスレス）とはプレートセッターでの露光後に現像や水洗、ガム引き、乾燥などの処理工程が不要で、印刷機の機上で現像するサーマルプレートです。処理薬品を一切使用しないため、廃液を全く排出することなく環境に配慮した作業環境を実現し、無処理版とも呼ばれています。



2007年に開催されたIGASで、多くの出典が目立ちましたが、当時から各メーカーで研究・改良が重ねられ現在に至っています。

Kodak Sonora XJが注目された理由は、日本市場のニーズを反映させ、今までは難しいとされていたUV印刷にも対応出来る事が一番の理由でしょう。

当社も将来の環境を見据え、無処理版への取り組みに関わっていきたくと考えています。

本社 環境委員会メンバー 2016

委員長：板倉英二

委員：丸山直哉 小井土昌弘 鈴木優梨菜
平井憲弥 福本幸伸 松下創一

